

韓国鉄道公社との提携による日韓間

RAIL-SEA-RAIL サービスの営業開始について

平成19年3月14日

大韓民国の鉄道会社である韓国鉄道公社と平成18年9月12日に事業協力についての覚書を締結しましたが、平成19年3月26日より営業を開始することになりました。

なお、今回のサービスは海外の鉄道会社と協力し、JR貨物の12フィートコンテナが海外の鉄道を利用して輸送される初めてのケースです。

日本の受託窓口は、日本通運株式会社が担当します。

1. 営業開始日 平成19年3月26日

2. 輸送区間

(1)海上輸送区間 博多港～釜山港

(2)鉄道輸送区間

国内 福岡貨物ターミナル駅～日本国内

韓国内 釜山鎮（プサンジン）駅～儀旺（ウィワン）ICD

ICD（Inland Container Depot）

3. 主な輸送品目

(1)韓国からの輸入：電子機器、各種部品など

(2)韓国への輸出：各種部品など

4. 標準輸送日数 約3日間

韓国内の鉄道では40フィートサイズのラックコンテナに、12フィートコンテナを3個積載して輸送します。

5. 商品名 日韓 RAIL-SEA-RAIL（レールシーレール）サービス

6. 輸送量 月間約200個

7. 韓国鉄道路線概要図 別紙



— 輸送経路(約400km)